キラキラ通信

郡山支援学校　地域支援部だより　第２号　平成２９年７月２０日（木）発行

キラキラ保護者教室を実施しました。



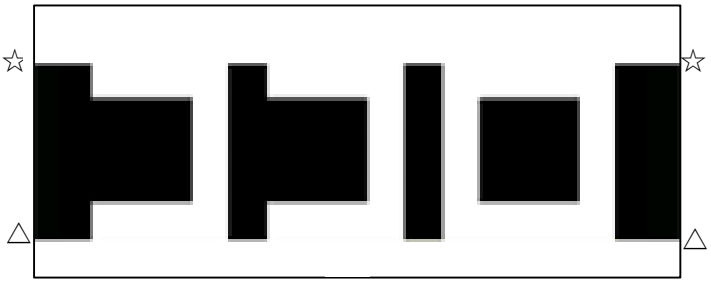
５月２２日（月）と６月２０日（火）の２回にわたり、キラキラ保護者教室を実施しました。「１年生になる前に」というテーマで、１回目は就学に関する情報とその手続きについて、特別支援教育センター主任指導主事五十嵐登美氏から講話をいただきました。２回目は、学校での学習や卒業後の進路について本校の進路指導部と地域支援部が連携して実施しました。



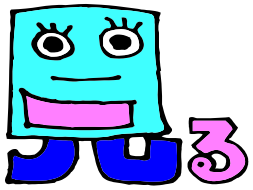
参加者からは「すべての内容が具体的に見えて、とても参考になった。」「親の主体性がとても重要と知り、動き出さなくてはと思った。」「支援計画は責任をもって、今後も一緒に作成していこうと思った。」などの感想が寄せられました。
キラキラ保護者教室は、今年度あと３回予定されています。みなさんのお近くに、困っている方や悩んでいる方がいらっしゃいましたら、ぜひお知らせください。

第3回　：　9月　6日(水)　10:00～11:30
「教えて！先輩お母さん」～どうしていますか？　おうちのこと　学校のこと～

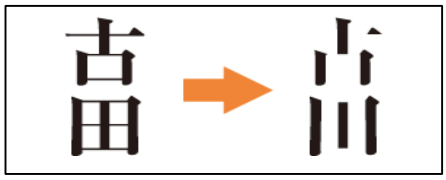
シリーズ　支援の視点①　「見る」



左の図には、なんと書いてあるでしょう？
ヒント１　カタカナ３文字。
ヒント２　☆―☆、△―△の位置に定規を当ててみる。
正解は裏面をご覧ください。



私たちは普段何気なくものを見て、相手も同じように見えていると思い込みがちです。思うように伝わらないと、「ちゃんと見てよ」「読めないの？」等と言ってしまいたくなりますが、自分には自分の見え方があるように、相手にもその人なりの見え方があったと気づかされることがあります。



このようなことが、横画が見えにくい人だと日常的に起こってきます。例えば右の図のように、文字が本来の形に見えなくなります。これは「読めない」のではなく「見えない」のです。

肢体不自由のある子どもたちの中には、視覚情報に対する「見えにくさ」「情報処理の難しさ」といった周囲が気づきにくい認知面の困難さを併せ持つこともあります。動作面に対する困難さだけでなく、見え方の特性を知る、見え方の違いを知ることで支援の方法が明らかになっていきます。